

しんせつ 親切になろう

ビーバー姉妹のビバリーとビーが、
衣装を着て出かける用意をしていました。
「見て、お母さん！ 仮装舞踏会に行く
準備がほとんどできたわ！」と、妹の
ビーが言いました。

「まあ、二人とも、とてもかわいらしい
わね！ 衣装もすごくすてき！」

ビーのドレスは、王女様らしい、幾重にも
フリルが広がったピンクのドレスです。
ビバリーのドレスはラベンダー色で、
そこら中にチョウが止まっているようです。

ただ、ビバリーは、ドレスのかたひもを
結ぶのに苦労していました。それに、
スカートの部分がビーのみたいに
ふわっとしていないようです。ビバリーは
しかめっ面をしました。「ねえ、ビー。
頭のリボンが何かヘンよ。スカートも、
あなたにはちょっと大きすぎるんじゃない？」
内心、ビバリーは妹に
焼きもちを焼いていたのです。



ビーはハッとしました！ それから
がっかりして、ひげもしゅんと下向きに
なっていました。「そ、そんなに
ひどい？ わたし、行かないほうがいい
かも。」

お母さんはビバリーに固い顔つきを
すると、ビーのかたをポンポンと
たたきました。「きれいだよ。王女様
みたいよ！ ふんわりしたスカートは、
ファッションの一部なの。リボンだって、
自分で結んだのは初めてでしょ。
とても上手にできてるわよ！」

ビーがクスンと鼻を鳴らすと、
お母さんが言いました。「こっち側の
リボンをちょっと直してあげましょうね。
ほら！ できたわよ。お父さんに見せて
きてごらんさい。わたしたちも、
すぐに行くわ。」

ビーは喜んで部屋を出て行きました。
さっきの心配は、どこかへふき飛んで
いました。



お母さん^{かあ}ビーバーは ビバリー^{ほう}の方を
むきました。うで^ぐ組みをして、さっき
よりも もっと ごきげんななめです。

「ビバリー。ビーに リボンが おかしい
なんて ^い言うのは、^{いじわる}意地悪よ。あなたの
^{ことば}言葉で ビーは がっかりしちゃったじゃ
ないの。」

「べ、^{べつ}別に、そんなつもりで ^い言ったん
じゃ ないわ。それに、リボンが ちゃんと
^{むす}結べて なかったのは、^{ほんとう}本当のことだもの。」

「だれかが ^{いっしょう}一生けん命 ^{めい}きれいになろうと
がんばっていたら、ほめて あげる べきよ。
ちょっとした ^{み お}見落としが あれば、^{なお}直して
あげれば いいの。だけど、ほめて あげた
^{あと}後にね。」

ビバリーは、お母さんが ^{さいしょ}最初に ビーを
ほめて、その後 ^{あと}リボンを ^{むす}結び直して
^{おち}あげたのを ^だ思い出しました。



お母さんはこうも言いました。
「だれかの気持ちを最初に考えずに
何か言ってしまうのはたやすいことだ
けれど、言葉には重みがあるの。
だれかを元気づけたりすることも
できれば、がっかりさせてしまうこともあるのよ。ビーの側になって、考えて
ごらんなさい。もしだれかが同じことを
あなたに言ったとしたら、どう感じる
かしら？」

ビバリーは、一生けん命にデザインして
作ったドレスにケチを付けられたら
どう感じるか、考えてみました。
「がっかりするわ。」 ビバリーは
自分がはずかしくなって、もごもごと
答えました。

「妹に意地悪するつもりじゃ
なかったのは分かるけれど、これからは、
黄金律を考えてみてね。それが
何だったか、覚えてる？」

「『人にしてもらいたいと思うことを、
人にもしなさい』ってこと？」¹

「その通りよ！」



¹ 新共同訳聖書、ルカによる福音書 6:31

「お母さん。本当のことを言うとね、わたし、自分のドレスでやきもきしてたの。かたひもがきちんと結べなくて、いらいらしてたのよ。だから、ビーに八つ当たりしちゃったの。」ビバリーが小聲で言いました。

お母さんビーバーはビバリーをやさしくだきしめました。「あなたのドレス、すてきよ。自分でデザインしたなんて、感心しちゃったわ。チョウも、まるで本物みたいだし！かたひもを直してあげるわね。」

お母さんは、ビバリーが衣装を着こなすのを手伝ってあげました。やがてビバリーは気を取り直し、お母さんといっしょに、お父さんとビーが待っている1階へ下りて行きました。

ビバリーは、すぐビーにあやまりました。「さっきは意地悪を言って、ごめんね。本当は、ビーがすごくすてきだったから、うらやましかっただけなの。」



ビーは おどろきました。「でも、ビバリーだって すてきじゃ ない！」 二人は ^{ふたり} 笑^{わら}って、くるくる ^{まわ} 回りながら ^{じぶん} 自分たちの ^み スカートを ^あ 見せ合いました。

仮装舞踏会には、ビーバータウンの ビーバーたちが みんな、^{さいこう} 最高に ^{いしよう} すてきな ^き 衣装を ^き 着て やって来^きました。ビーバー姉妹は ^{しまい} わくわくしました。
食べ物の ^た 屋台には、お菓子や ^か 果物が ^し 並んでいます。マジックショーでは、ビーバーが ^き 消えたと ^{おも} 思ったら ^ぶ 舞台の ^{はんたいがわ} 反対側に ^あ あられる、という ^{たの} ショーを ^{たの} やっていました。ビバリーと ビーはその ^{さいしょ} イベントを ^{さいご} 最初から ^{こころゆ} 最後まで、^{たの} 心行くまで ^{たの} 楽しみました。だれかと ^{たの} いっしょだと、^{たの} 楽しみは ^{おお} より ^{おお} いっそう ^{おお} 大きく ^{おお} なる ^{おお} ものです。

お
終わり



せいよく お きょうだい しんじつ きたか
聖句：終わりに、兄弟たち、すべて 真実な こと、すべて 気高い こと、
すべて ^{ただ} 正しい こと、すべて ^{きよ} 清い こと、すべて ^{あい} 愛すべき こと、すべて
めいよ ^{とく} 名誉な ことを、また、^{しょうさん} 徳や ^{あた} 称賛に ^あ 値する ことが ^{こころ} あれば、それを ^{こころ} 心に
とめなさい。(^{しんきょうどうやくせいしよ} 新共同訳聖書 ^{しんと} フィリピの ^{てがみ} 信徒への ^{てがみ} 手紙 4:8)